

美原通信

2012年2月

第40号



年頭ご挨拶

理事長 美原 樹

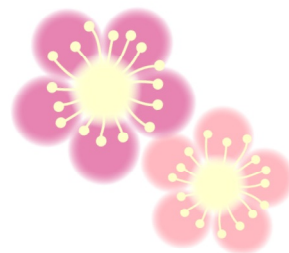
新しい年になりました。

昨年は未曾有の災害と共に、国内に留まらず地球規模的な自然災害、伴う人災に混沌たる情勢でありました。大きな混乱のなかで、時間だけが変わらずに過ぎ、毎日の生活が続けられております。

本年は辰（たつ）年であります。辰は竜、龍とも置き換えられ、古来より神聖なるもの、力を持つものとしての象徴ともされており、壮大な龍図が描かれ奉られている仏閣、寺院も知られています。

故事成語にも伝わるように、「画竜点睛」とは竜の絵に最後に瞳を書き入れたところ、たちまち竜が天に昇ったという故事から、大事な仕上げの意味を持ちます。又、「登竜門」は、中国黄河の急流を遡った鯉は竜になると言われたことから使われるようになりました。まさしく昨年は激流であり、人は遡る鯉であったかもしれません。その「登竜門」である今年を、私達は目や耳を塞ぐことなく、瞳（心）を入れかえた竜の如く、力強く動き出す一年であることを願います。同時に、東北各地の真の復興、日本の健全なる再建を祈り、皆様と共に歩む所存です。

皆さまにとって良い年になりますように。



CONTENTS

表紙	新年のご挨拶	1
報告	鈴木健太郎先生着任のご挨拶.....	3
	整形外科外来のお知らせ.....	3
	狭心症、心筋梗塞と冠動脈CT.....	4
	委員会紹介「医療の質向上委員会」.....	6
	「医療安全管理委員会」.....	8
	「広報委員会」.....	9
	外来診療医一覧表.....	10

財団法人脳血管研究所関連施設

美原診療所



372-0048
群馬県伊勢崎市大手町 6-23
TEL 0270-25-0112
FAX 0270-23-5522

介護老人保健施設 アルボース



372-0006
群馬県伊勢崎市太田町 427-3
TEL 0270-21-2700
FAX 0270-21-2704

訪問看護ステーション グラーチア



372-0048
群馬県伊勢崎市大手町 12-24
TEL 0270-20-7676
FAX 0270-20-7677

居宅介護支援事業所 みはら



372-0006
群馬県伊勢崎市太田町 427-3
TEL 0270-20-1551
FAX 0270-21-2704

ケアプランセンター みはら



372-0006
群馬県伊勢崎市太田町 427-3
TEL 0270-21-2703
FAX 0270-21-2704

特別養護老人ホーム アミーキ



379-2217
群馬県伊勢崎市磯町 435-1
TEL 0270-20-2121
FAX 0270-20-2197

ホームページアドレス：<http://mihara-ibbv.jp/>

携帯電話専用アドレス：<http://mihara-ibbv.jp/hp/k/>

鈴木健太郎医師着任のご挨拶

脳卒中部門 鈴木 健太郎

今年1月から脳卒中部門で勤務しております鈴木健太郎と申します。

2007年に日本医科大学を卒業し、2年間初期研修を行いました。その後、日本医科大学付属病院神経内科に入局し、都立荏原病院、山形県北村山公立病院で勤務し、神経内科学を勉強してきました。

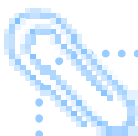
群馬県は初めてですが、公園、自然も多く運動しやすい環境に加え、大型ショッピングセンターも多数存在し、楽しく生活させて頂いております。

医療ではなるべく患者さんの目線で親しみやすい医療を心掛けておりますので、何か不明な点がございましたら気軽に声を掛けて頂ければ幸いです。早く環境に慣れて、少しでも皆様のお役に立てればと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



整形外科外来追加のお知らせ

2月より、整形外科外来が土曜日に加え新たに追加されます。



2月中 毎週水曜日午前
3月以降 ... 毎週火曜日午前
担当医 小林 茂夫(コバヤシ シゲオ)医師

ご不明な点は、受付または外来へお問い合わせください。

狭心症, 心筋梗塞と冠動脈CT

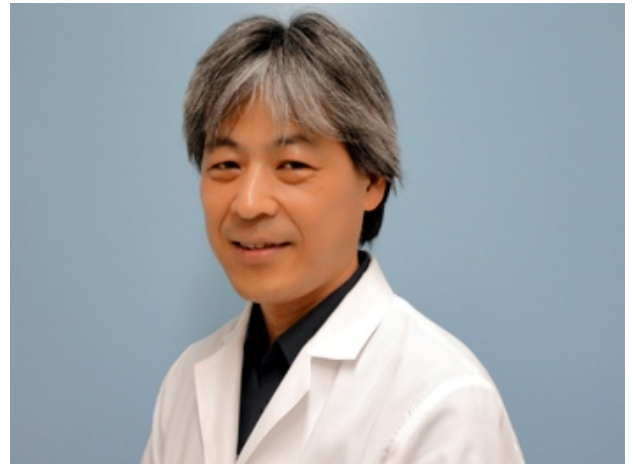
循環器科部長 江熊 広海

昨年8月より当院におきましても冠動脈CTが撮影出来るようになりました。冠(状)動脈というのは心臓の周りを取り巻いている血管で、心臓はそこから酸素や栄養の供給を受け、全身に血液を送るという大変大切な働きを担っています。もしその血管が動脈硬化により内腔が狭くなると狭心症、完全に詰まってしまう血液が流れなくなると心筋梗塞という病気になります。

典型的な狭心症の症状は前胸部全体に「圧迫されるような痛み」「締め付けられるような痛み」が主に労作時に起こり、同時にあごや歯、左肩などが痛くなる「放散痛」を伴うこともあります。痛みの持続時間は2~3分というものが多く30秒以内に治まるものや、1時間以上も続く場合は狭心症は否定的です。(ただ、1時間も続く痛みは既に心筋梗塞になっている場合もありますので、注意が必要です。)このような症状が同じ程度の労作で繰り返しおこるのが「安定狭心症」と呼ばれるものです。これに対し、「今まで起こっていた労作より軽い労作で起こるようになった」「1日に何度も症状が起こるようになった」「安静時にも起こるようになった」など症状が今までと異なってくる場合があります。これは「不安定狭心症」と呼ばれるもので、放っておくと「心筋梗塞」を起こすことがありますので注意が必要です。

心筋梗塞の痛みは狭心症の痛みより激しく「死の恐怖を感じた」と多くの患者さんが言います。心筋梗塞は早期の診断、治療がとても大切で、発症から治療までの時間が短ければ短いほど、後遺症は少なくなります。詰まった血管が再開通するまでの時間が3時間以上かかればやはり後遺症は残ります。

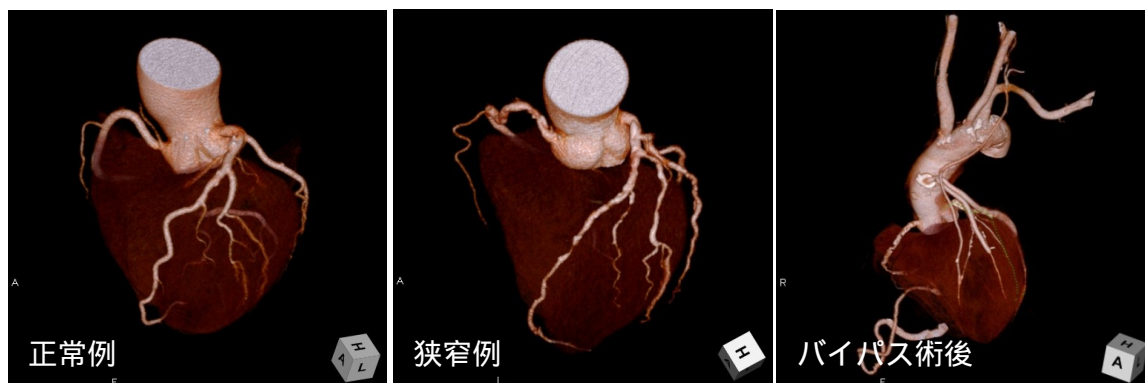
同じように血管が詰まってしまう脳梗塞という病気がありますが、この場合は手足の麻痺や言葉が思うようにでないといった症状が残ります。心筋梗塞の場合は一見健康の人と代わらないように見えますが、ポンプとしての能力が落ちますので人より長い距離が歩けない、息切れがする、疲れやすいなどの心不全症状がでる場合があります。また、死に至る不整脈が出やすくなるなど、やはり怖い後遺症が残る場合があります。心筋梗塞は時間との勝負ですので、少しでもおかしいと感じたら心臓カテーテルによる治療ができる病院を受診することが大切です。



さて冠動脈 CT ですが、狭心症や心筋梗塞の診断をする装置であり、残念ながら治療はできません。冠動脈 CT の良い適応は、安定狭心症の診断、ステントなど冠動脈治療のフォローアップ、心臓バイパス術後の定期検査などになります。これらは今まで心臓カテーテル検査で行われており、1~2泊の入院が必要でした。動脈から管を入れるため、検査後の出血、血栓塞栓症、不整脈、心筋梗塞の発症など多少の危険を伴うものです。また X 線被曝量は 5~10mSv です。(この単位は敏感な方も多いと思います。)

一方、現在当院に導入されている 320 列マルチスライス CT では、入院の必要はなく、検査時間も 20~30 分、静脈からの穿刺のため怖い合併症もありません。費用もカテーテルの数分の 1 で、被曝量も 2~4mSv でおさまります。まだ使用をはじめて半年足らずですが、症例数も 100 例程になっております。

実際の CT 画像をお示しします。



まだ健康診断的に使用することは推奨されておりませんが、狭心症様の症状のある方、過去に冠動脈に異常がありカテーテル検査の再検に躊躇されている方などのご相談下さい。



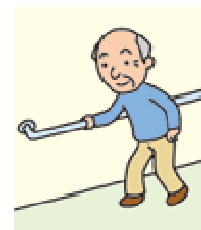
医療の質向上委員会

「良い病院」と言われ、皆さんはどのようなことを思い浮かべますか？テレビや新聞、雑誌では、しばしば「手術数の多い病院ランキング」「超最先端医療機器」「名医(ゴッドハンド)」などが話題に上がります。確かにこれらは病院を評価する重要な視点でしょう。しかし、「手術数が多くても手術結果はあまり良くない」「最先端医療機器の性能が十分に活かされていない」こともあり得えます。名医にしても、非常に心強い存在ですが、ご存じの通り入院中に患者様が最も多く接するのは看護師です。



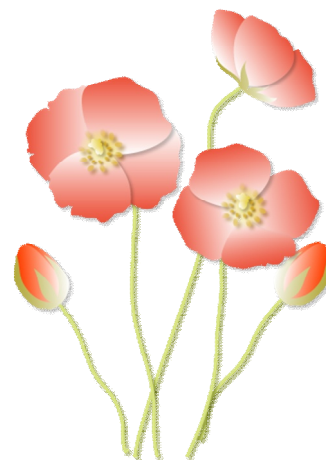
さらに、リハビリはリハビリスタッフ、薬の準備は薬剤師、食事の管理は管理栄養士、経済不安や公的制度の相談は相談員、退院後の環境整備はケアマネなど、実際には多くの専門職種が、患者様およびご家族の不安に対し包括的にサポートできるよう取り組んでいます。つまり、病院の良さというものは、「手術数の多さ」や「医療機器」「名医」ばかりではなく、院内のあらゆる部署やスタッフが、それぞれの専門性

に基づいて高い「質」を発揮し、その積み重ねとして病院全体でどれだけ高いパフォーマンス(機能)を発揮できているかということが重要になります。このような取り組みを推進するのが「医療の質向上委員会」の役割であり、実際の状況を全国平均などと比較しながら、取り組みが適切に行われているかを評価しています。

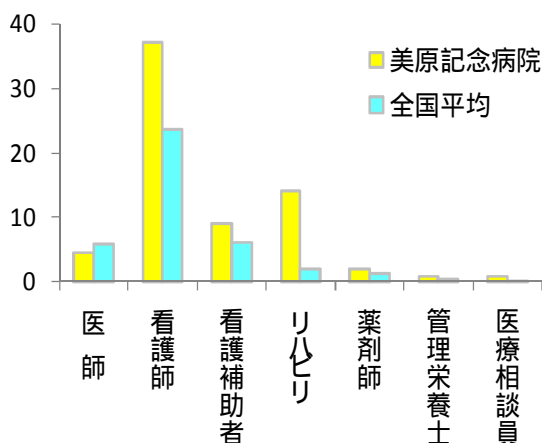


実際に、当院の専門である脳卒中治療について見ると、右のグラフの通り「配置人数」では、看護師だけでなく脳卒中治療に不可欠であるリハビリスタッフも非常に手厚い配置となっています。「リハビリ開始までの日数」では、入院から1日以内でのリハビリ介入率は70%と高く、患者様1人1日当たりのリハビリ量と共に、脳卒中の発症早期から手厚いスタッフ配置による密度の高いリハビリが実施されていることが分かります。また、「治療結果」では全国平均と同じ点数ですが、「入院日数」は当院が明らかに短くなっており、このことは当院がより短い入院期間で全国平均と同等の治療結果に達していることを意味しています。さらに、「自宅退院の割合」も全国平均の70%に対し当院は77%であり、人員配置から治療のプロセス、治療結果のそれぞれにおいて、脳卒中専門病院として高いパフォーマンスが発揮されていることが認められます。

これらの結果は決して一朝一夕でなし得るものではなく、スタッフ一人ひとりの継続した努力の成果に他なりません。今後も財団一丸となって、さらに高いパフォーマンスが発揮し、地域の皆様に貢献できるよう取り組んでいきたいと思っております。



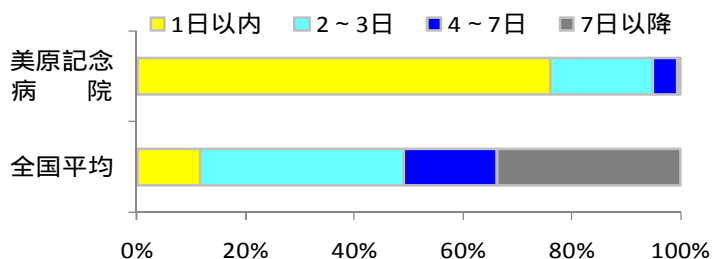
【1 病棟当たりの配置人数】



全国平均：

「平成19年病院報告」(厚労省)における一般病院の100床当たり常勤換算従事者数を45床に換算したもの

【脳卒中に対する入院からリハビリ開始までの日数】



参考)脳卒中の患者さま 1人1日当たりのリハビリ量

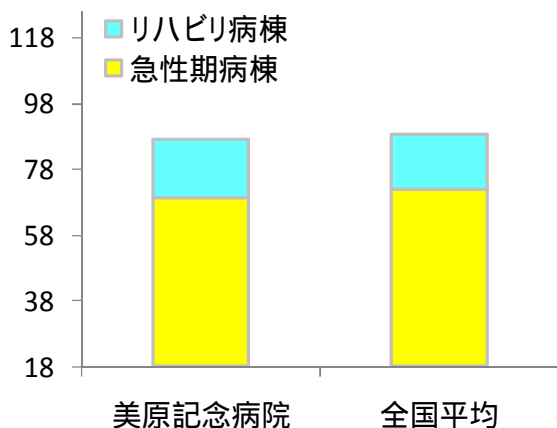
3階急性期病棟 : 平均 1時間40分

5・6階リハビリ病棟 : 平均 2時間14分

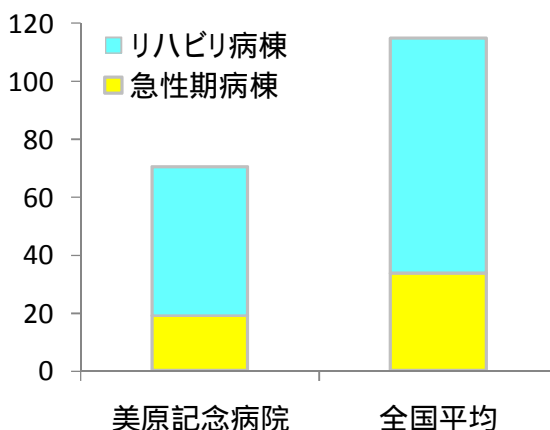
全国平均：「脳卒中データバンク2009」(中山書店)

【脳卒中の治療結果(FIM)】

(点数が高いほど麻痺等が少なく、身体機能が自立している)

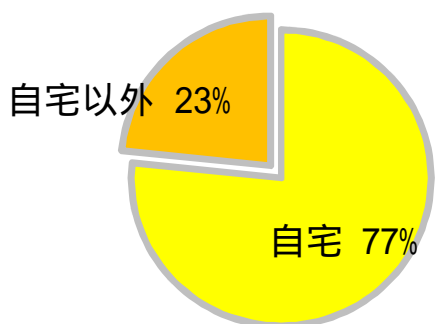


【脳卒中の入院日数】

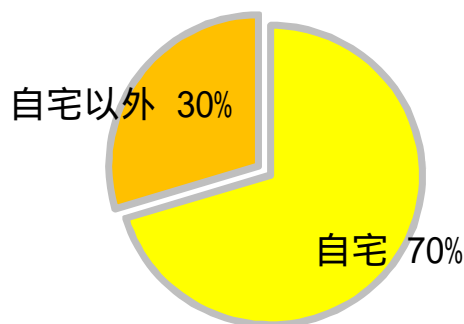


【自宅退院の割合】

美原記念病院



全国平均



全国平均：「回復期リハビリ病棟の現状と課題に関する調査報告書」

(全国回復期リハビリ病棟連絡協議会)

医療安全管理委員会

当院では、院内で行なわれる医療行為に対して、ミスや事故のないように、またより安全性の高い医療行為が行えるよう医師・看護師をはじめ他職種のスタッフとともに努力しております。

医療安全管理委員会では、患者様が安全な医療を受けられる環境を整えることを目標に上げ、病院内の安全に関する状況の把握と分析を行い、安全で質の高い医療の確保のために活動をしています。

安全確保のための具体策として、当院で行われている医療安全対策の一部を紹介いたします。

(1) 患者誤認防止対策



- ・入院患者様全員にネームバンドを装着させていただきます。
- ・検査、配薬、配膳時は、患者様に名乗っていただきます。
- ・点滴、輸血実施時はネームバンドシステムによる確認を行っています。

(2) 転倒・転落事故防止対策



低床ベッド

サイドコール
マットに触れると
コールが鳴ります



入院時または転棟時に、転倒・転落の危険性があるかどうか評価し、転倒の危険性が高い場合には、低床ベッドやサイドコールなどの予防対策が行われます。また、転倒してしまった場合には、再度転倒しないよう看護師、リハビリスタッフで話し合いが行われ転倒予防に努めています。

(3) 医療安全管理勉強会開催



心肺蘇生訓練

院内勉強会
講師：医療機器担当



医療安全に関する勉強会を、全スタッフを対象に行っています。

医療安全管理委員会では医療事故が防止できるよう努力していますのでご協力をお願いします。

広報委員会

広報委員会では主に 広報紙（院外報・院内報）の発行， ホームページの管理， 院内掲示物の管理， ギャラリーの管理・運営を行っています。皆様により良い多くの情報を発信できるように日々努めております。委員会は各部署からの選出者で構成されており，各自が情報（記事など）を収集し，委員会でまとめ，財団の情報として発信しています。

広報紙

現在手にされているのが院外報「美原通信」です。来院される方に自由に持ち帰っていただけるように院内各所のパンフレット立てにて配布しています。医師による病気やお薬，治療の話や最新機器の紹介，各部署の業務紹介などの記事がメインとなっています。

この他に財団職員向けの「美原だより」，アルポース用の「アルポースだより」，「家族会だより」が広報紙として発行されています。



ホームページ

インターネット上で“美原記念病院”で検索していただくと財団のホームページを見ることができます。ホームページでは外来案内，医師紹介，部署紹介，学術活動，求人などの細かい様々な情報を発信しています。ご意見やご質問などがありましたらホームページ内で随時受け付けておりますのでご利用下さい。

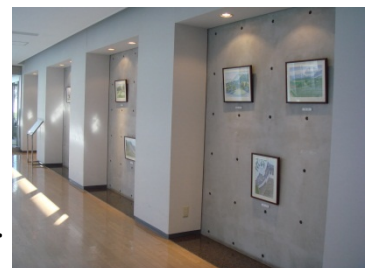


掲示物

院内にある掲示物の管理も広報委員会で行なっています。外来情報（休診，代診など），ポスター，イベント情報，賞状などを随時張り替え，少しでも目にさせていただけるように努めていますので，来院された際には是非一度掲示物にも目を向けて下さい。

ギャラリー

病院正面玄関を入れて右手にあるのがギャラリーです。1～2ヶ月ごとに新しい作品に掛け替えられます。出展していただいているのは，当院の外来の患者様，入院されている方，デイサービスを利用されている方など様々な方に素晴らしい作品を提供していただいています。外来の待ち時間などで時間が許すときにでもギャラリーに足を運んでみて下さい。



広報委員会では今後とも皆様のお役に立てる情報を提供できるように努力していきますので，こんな情報が欲しいなどのご意見がございましたら，是非とも意見箱にお聞かせいただくと幸いです。

外来診察医一覧表

平成24年2月1日現在

		月	火	水	木	金	土
神経内科	美原 盤	木村 浩晃	神澤 孝夫 (脳卒中)	美原 盤	神澤 孝夫 (脳卒中)	木村 浩晃	五味愼太郎 (頭痛外来)
	堀越 知 (脳卒中)						
脳神経外科	秋山 武和	狩野 忠滋		赤路 和則	谷崎 義生		
整形外科			非常勤医師				非常勤医師
内科			美原 樹				
循環器科	江熊 広海				江熊 広海		
特別外来(予約制)	午前		脳血管内治療 赤路 和則 9:00~		パーキンソン病 大平 貴之 午前	リハビリ 担当医師 10:30~	ポトックス 美原 盤 午前
							パーキンソン病 大平 貴之 午前
	午後		神経難病 美原 盤 13:00~	もの忘れ 木村 浩晃 13:00~	もの忘れ 美原 盤 13:00~	神経内科 高尾 昌樹 (第2・4) 13:00~	
				循環器科 江熊 広海 13:00~		セカンド オピニオン 担当医師 14:00~	
ガンマ ナイフ	ご相談に応じて実施いたします。						

受付時間 午前8時30分～午前11時30分

休診日 日曜日, 祝日

年末年始, お盆による休診日や担当医の変更は, ホームページまたは院内掲示板にてお知らせいたします。

受付時間・休診日ともに, 急患の方は, この限りではありません。

面会時間 午後1時～午後7時

3階病棟311号室～317号室は午後3時～午後7時

支払い 入院費等の支払いは午前9時～午後5時までにお済ませ下さい。



(財)脳血管研究所美原記念病院

群馬県伊勢崎市太田町366

TEL: 0270-24-3355

FAX: 0270-24-3359

Institute of Brain and Blood Vessels